

- 富士電機のSDGs
- ESG (環境・社会・ガバナンス)
- 環境
 - 方針・環境ビジョン2050・TCFD提言に沿った取り組み
 - 環境マネジメント
 - 環境経営の実績・データ
 - 環境経営の目標と実績
 - 事業活動と環境負荷の相関
 - 環境会計
 - 環境データ集2020年度
 - 第三者検証報告書**
 - 脱炭素社会の実現
 - 循環型社会の実現
 - 自然共生社会の実現
- 社会
- ガバナンス
- ESGインデックス
- ISO26000対照表
- 社外からの評価
- PCB使用電気機器の判別について
- 関連資料
 - 富士電機レポート2021
 - 報告書バックナンバー
 - 環境カタログ
 - 「Blue Navigation」
 - 資料請求

環境・社会・ガバナンス 第三者検証報告書

第三者検証報告書

2019年度における下記環境パフォーマンスの第三者認証を取得しました。(2021年3月)

【項目】

エネルギー使用量、エネルギー起源のCO₂排出量、CO₂以外の温室効果ガス排出量、スコープ3排出量 (カテゴリ2・3・4・5)

VOC排出量

水購入量、地下水の取水量

廃棄物排出量および最終埋め立て量

【範囲】

国内：工場とオフィス (連結子会社) すべて

海外：連結生産子会社工場すべて

<カバー率：国内外100%>

【認証基準規格】

ISAE3000：国際保証業務基準3000号

「過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務」

ISO14064-3：国際規格：GHG算定の妥当性

検証に関するルール

環境データ 第三者検証報告書
富士電機株式会社 部中

2021年2月24日
株式会社 日本環境保証機構
代表取締役社長 小野寺 浩幸

株式会社日本環境保証機構 (以下、JACO) は、国内連結会社・海外連結生産子会社を含む富士電機株式会社 (以下、当社) 及びその関係会社 (以下、FeSMART) のエネルギー使用量、エネルギー起源のCO₂排出量、CO₂以外の温室効果ガス排出量、スコープ3排出量 (カテゴリ2・3・4・5) の排出量及び水購入量、地下水の取水量、廃棄物排出量及び最終埋め立て量、VOC排出量について、第三者検証業務 (以下、検証) を実施し、検証結果を報告書として提出した。報告書は、ISAE3000 (国際保証業務基準3000号) に基づき、過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務として実施された。報告書は、ISAE3000 (国際保証業務基準3000号) に基づき、過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務として実施された。報告書は、ISAE3000 (国際保証業務基準3000号) に基づき、過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務として実施された。

【検証対象】
JACOは、報告書に合意に基づいて、2019年度 (2019年4月1日～2020年3月31日まで) に関する検証を実施した。

検証対象	サンプリング対象6事業所
総量に占める2020年3月31日時点での対象事業所が1割未満の事業所について、以下を抽出した環境パフォーマンス指標	<ul style="list-style-type: none"> ・富士電機株式会社 三浦工場 ・富士電機株式会社 千歳工場 ・株式会社デンソーエレクトロニクス
・工場内水使用量 (購入量+取水量+地下水)	・データ検証業務所
・報告書対象工場からの廃棄物 (排出量、最終処分)	・富士電機株式会社 川崎工場
・工場内大気へのVOC排出量	・富士電機株式会社 センダ工場株式会社 大塚工場
	・富士電機株式会社 センダ工場株式会社 藤江工場
	・富士電機株式会社 センダ工場株式会社 藤江工場
	・富士電機株式会社 センダ工場株式会社 藤江工場

【検証の結果】
上記の検証結果、検証手続及び、以下を以て見解を示す。
1. JACOが実施した手続及び手続は、検証に準じて、主要データ項目に関して、信頼性の算定基準に照らして満足している。検証結果は、全ての事業所及び関係会社から抽出された。
2. 報告書は、検証対象期間のデータについて、収集・集計・分析のための仕組及び運用が適切であり、その仕組が適切に機能していることが確認された。
3. 報告書は、検証対象期間のデータについて、収集・集計・分析のための仕組及び運用が適切であり、その仕組が適切に機能していることが確認された。

検証された排出量データ
・エネルギー使用量: 1,015 GWh
・水使用量 (購入量+取水量+地下水): 13,398 t
・廃棄物 発生量: 32,387 t、最終処分量: 345 t
・大気へのVOC排出量: 1,083 t

【検証の範囲、範囲】 報告書は、JACO検証チームは、報告書の範囲内から、抽出したデータを検証している。

温室効果ガス排出量 検証報告書
富士電機株式会社 部中

2021年2月24日
株式会社 日本環境保証機構
代表取締役社長 小野寺 浩幸

株式会社日本環境保証機構 (以下、JACO) は、国内連結会社・海外連結生産子会社を含む富士電機株式会社 (以下、当社) 及びその関係会社 (以下、FeSMART) のエネルギー使用量、エネルギー起源のCO₂排出量、CO₂以外の温室効果ガス排出量、スコープ3排出量 (カテゴリ2・3・4・5) の排出量について、第三者検証業務 (以下、検証) を実施し、検証結果を報告書として提出した。報告書は、ISAE3000 (国際保証業務基準3000号) に基づき、過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務として実施された。報告書は、ISAE3000 (国際保証業務基準3000号) に基づき、過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務として実施された。報告書は、ISAE3000 (国際保証業務基準3000号) に基づき、過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務として実施された。

【検証の目的及び範囲】
当社は、温室効果ガス排出量に関するISAE3000 (国際保証業務基準3000号) に基づき、2019年度 (2019年4月1日～2020年3月31日まで) の温室効果ガス排出量について検証を行った。
1) スコープ1及びスコープ2の温室効果ガス排出量
- 温室効果ガス排出量の算定方法
- 温室効果ガス排出量の算定方法
2) スコープ3の温室効果ガス排出量
- 温室効果ガス排出量の算定方法
- 温室効果ガス排出量の算定方法

【検証の手続】
当社は、ISO 14064-3:2006 Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the validation and verification of greenhouse gas assertions に準じて検証を行った。当社は、報告書に合意に基づいて、2019年度 (2019年4月1日～2020年3月31日まで) に関する検証を実施した。報告書は、ISAE3000 (国際保証業務基準3000号) に基づき、過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務として実施された。報告書は、ISAE3000 (国際保証業務基準3000号) に基づき、過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務として実施された。報告書は、ISAE3000 (国際保証業務基準3000号) に基づき、過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務として実施された。

【検証の結果】
当社の実施した検証手続及び、以下を以て見解を示す。
1. JACOが実施した手続及び手続は、検証に準じて、主要データ項目に関して、信頼性の算定基準に照らして満足している。検証結果は、全ての事業所及び関係会社から抽出された。
2. 報告書は、検証対象期間のデータについて、収集・集計・分析のための仕組及び運用が適切であり、その仕組が適切に機能していることが確認された。
3. 報告書は、検証対象期間のデータについて、収集・集計・分析のための仕組及び運用が適切であり、その仕組が適切に機能していることが確認された。

検証された排出量データ
スコープ1: 222 ktCO₂e、スコープ2: 235 ktCO₂e、スコープ3: 187 ktCO₂e
スコープ3の排出量の内訳は以下の通り。
・スコープ3: 138 ktCO₂e、スコープ3: 31 ktCO₂e、スコープ3: 12 ktCO₂e、スコープ3: 5 ktCO₂e、スコープ3: 6 ktCO₂e

【検証の範囲、範囲】 報告書は、JACO検証チームは、報告書の範囲内から、抽出したデータを検証している。

【検証の結果】
上記の検証結果、検証手続及び、以下を以て見解を示す。
1. JACOが実施した手続及び手続は、検証に準じて、主要データ項目に関して、信頼性の算定基準に照らして満足している。検証結果は、全ての事業所及び関係会社から抽出された。
2. 報告書は、検証対象期間のデータについて、収集・集計・分析のための仕組及び運用が適切であり、その仕組が適切に機能していることが確認された。
3. 報告書は、検証対象期間のデータについて、収集・集計・分析のための仕組及び運用が適切であり、その仕組が適切に機能していることが確認された。

検証された排出量データ
スコープ1: 222 ktCO₂e、スコープ2: 235 ktCO₂e、スコープ3: 187 ktCO₂e
スコープ3の排出量の内訳は以下の通り。
・スコープ3: 138 ktCO₂e、スコープ3: 31 ktCO₂e、スコープ3: 12 ktCO₂e、スコープ3: 5 ktCO₂e、スコープ3: 6 ktCO₂e

【検証の範囲、範囲】 報告書は、JACO検証チームは、報告書の範囲内から、抽出したデータを検証している。

【検証の範囲、範囲】 報告書は、JACO検証チームは、報告書の範囲内から、抽出したデータを検証している。